

2024年12月24日

株式会社 TMJ

## TMJ、女性従業員に向けた キャリアサポートの推進を強化

「女性向けキャリアサポート」の昨対比結果、  
キャリアアップ志向が7%向上、研修受講者の41%が新たな仕事を担当、  
意識と行動にポジティブな変化が見られることからさらなる継続的な支援を実施

コールセンター・バックオフィス（事務処理センター）の構築・運営を行うセコムグループの株式会社 TMJ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：丸山 英毅、以下 TMJ）は、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（以下、DEI）の実現に向け 2023 年より開始した女性従業員に向けたキャリアサポートの取り組みにより、サポート対象者の意識・行動にポジティブな変化を得ることができました。この結果を受け、自社女性従業員向けのキャリアサポートを強化し、さらなるキャリア形成の支援を行います。

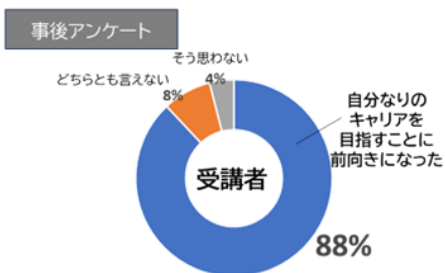


### ■ 女性向けキャリアサポート取り組みの成果

女性活躍推進への取り組みが社会的に進むなか、TMJ では、2023 年 7 月に「TMJ サステナビリティ宣言<sup>※1</sup>」を公開。その重要な要素に「人的資本」を位置づけ、DEI 推進にむけて社内の意識醸成や対策の検討を進めてきました。その中のテーマの 1 つである「ジェンダーフリー実現」に向けて、2023 年より「女性向けキャリアサポートの取り組み」を始動。“2025 年の管理職登用エントリーを男女比 50:50”の達成を目標に、女性向けキャリアサポート研修（以下、研修）を中核に各種施策を行っています。

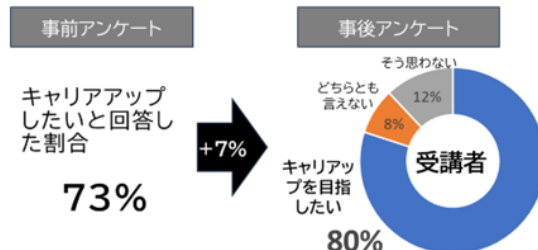
初年度の対象者は各種研修・サポートの事後アンケートから、意識・行動面でのポジティブな変化が生まれていることが判明しています。

【本人】キャリアに対して前向きになったか？



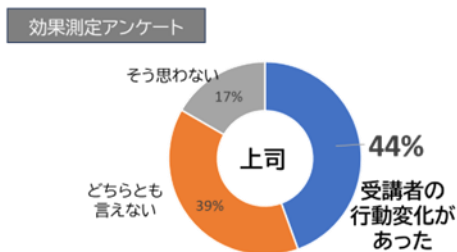
研修受講者の88%が自分なりのキャリアを目指すことに前向きになったと回答

【本人】キャリアアップ(グレードやポジション、役割等級のアップ)を目指したいか？



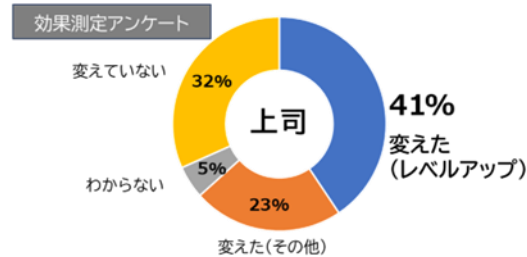
キャリアアップ(役割アップ)を目指したいという回答率は+7%上昇

【上司】受講者の行動、周囲への働きかけや発信などに、変化はあったと思うか？



研修受講者の上司の44%が受講者の行動に変更があったと回答、どちらとも言えないが同じ位多い

【上司】今期受講者の役割や仕事内容を変えたか？



研修受講者の上司の41%が、今期受講者の役割や仕事内容を変え、レベルを上げたと回答

研修受講後のアンケートでは、対象者の88%が「キャリアに前向きになった」と回答。「キャリアアップを目指したい」との回答も7%増加しました。また、その上司も44%が「対象者の意識・行動の変化」を実感し、結果として41%の上司が「今期、新しい職域・タスクを任せたと回答するなど、挑戦風土や組織活性につながる効果を生むことができました。

女性が昇進を望まない一因と言われる「インポスター症候群<sup>※2</sup>」の解消につながる成果も多く見られ、「自分なりのキャリア形成」への肯定感に結びつけられている手応えを昨年の活動から得ることができました。

※1「TMJ サステナビリティ宣言」を公開

[https://www.tmj.jp/news/sustainability/20230718\\_22770/](https://www.tmj.jp/news/sustainability/20230718_22770/)

※2 インポスター症候群：自分の成功や成果を正当に評価できず、「自分の実力ではなく、運が良かっただけ」「周囲のサポートがあったから」などと思い込み、自分の力を信じられない状態に陥る心理状態のこと。特に女性に多く見られる傾向があると言われる。

## ■ 女性向けキャリアサポートをさらに強化

昨年度の成果を受け、TMJでは女性向けキャリアサポートの体制・施策の充実を図ります。

前年に引き続き、株式会社OACD（所在地：東京都中央区）の代表 榎並重人氏による半年間の「女性向けキャリアサポートプログラム」を、2024年9月より実施。「自分らしさ＝自律と自己決定」をキーワードに、自身のキャリアデザインを描き、自分らしいリーダー像を明確にしていくプログラムを展開します。加えて、プログラム対象者以外の若年層への意識づけに向け、部長職以上の女性マネージャーとの「1on1 コーチング」を本年度より新たに設け、キャリア形成のすそ野を広げます。



株式会社 OACD  
代表：榎並重人氏

また、キャリア形成を促す上司向けへは「女性部下育成&マネジメントサポートブック」を2024年5月より配布しました。「女性だから」と無意識に遠慮をするなど「アンコンシャスバイアス」の解消や、女性特有の心理理解を踏まえたキャリア形成のサポートを促します。その他に、前述の榎並氏と個別事案についてメー



ルで相談できる「上司窓口」も開設。人事育成のプロフェッショナルによる相談窓口を提供することで、管理職の育成やマネジメントに関する悩み解決をサポートしていきます。

当社は TMJ グループの持続成長に向けて、社会や取引先から「選ばれ続ける存在」になるよう「多様な人が自分らしく働ける会社」を目指し、様々な取り組みを行っています。今後も目指す姿の実現に向け、TMJ は DEI を推進し、誰もが公平でそれぞれのスタイルが尊重される環境づくりを進めてまいります。

■株式会社 TMJ について（ <https://www.tmj.jp/> ）

TMJ は、株式会社福武書店（現・株式会社ベネッセコーポレーション）のインハウスコールセンターより独立分社化する形で 1992 年に設立。世界でも例のない継続型の会員制事業で培った生産管理、品質管理のノウハウを活かし、多種多様なクライアント企業のコールセンターの設計・運営から、調査・分析、人材派遣、人材育成などのサービスを提供しています。2017 年には、セコム株式会社の 100%子会社となり、より強固で安全性の高いグループネットワークを活かし、クライアントビジネスの成功をサポートします。